

## 定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成31年 2月 7日 9時30分～12時40分

出席委員：佐伯委員長・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

### 1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	警察安全相談等及び苦情取扱状況（平成30年中）	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	情報公開及び自己情報の開示請求等の状況（平成30年中）		
3	平成31年特別賞及び優秀警察職員表彰式の実施		
4	報告 小学校高学年を対象としたサイバー教材の作成	生活安全部	生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長
5	主要事件の検挙		
6	刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成30年確定値及び平成31年 1月末暫定数）	刑 事 部	名古屋市警察部長 情報通信部長
7	交通事故発生状況（平成31年 1月末）	交 通 部	

### 2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（13件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 激励の上申		
3	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住民サービス課長 首席監察官
4	報告 監察案件		
5	報告 優良指定自動車教習所表彰の実施	交 通 部	運転免許課長
6	報告 名古屋市との治安連絡会の開催結果	名古屋市警察部	企画調整課長
7	決定 聴聞等の実施結果・決定 59件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 警務部

##### ア 警察安全相談等及び苦情取扱状況（平成30年中）

警務部長から、平成30年中の警察安全相談等及び苦情取扱状況について、  
「警察安全相談等の受理件数は129,202件で、平成29年中に比べ12.7パーセント増加した。

公安委員会宛苦情の受理件数は42件、警察宛苦情の受理件数は94件であった」

旨の報告があった。

委員から、

「事例集を発出するなど不適切な取扱いの再発防止につながる取組は評価できる」

「今後も引き続き自浄作用を働かせ、業務改善に努めてほしい」旨の発言があった。

##### イ 情報公開及び自己情報の開示請求等の状況（平成30年中）

警務部長から、平成30年中の情報公開及び自己情報の開示請求等の状況について、

「情報公開の開示請求件数は、警察本部長宛が584件で、公安委員会宛はなかった。

自己情報の開示請求件数は、公安委員会宛が7件、警察本部長宛が463件であった」

旨の報告があった。

##### ウ 平成31年特別賞及び優秀警察職員表彰式の実施

警務部長から、

「2月15日（金）午後2時から、警察本部講堂において平成31年特別賞及び優秀警察職員表彰式を実施する。

受賞者は、

特別賞 1人

優秀警察職員表彰 232人

である」

旨の報告があった。

## (2) 生活安全部

### ア 小学校高学年を対象としたサイバー教材の作成

生活安全部長から、

「スマートフォンを使い始める小学校高学年の児童に対し、スマートフォンの危険性を、講話のような一方通行ではなく、児童が自ら考えるワークショップの要素を取り入れた啓発ができる教材を作成した。今後、各教育委員会の協力を得て、県内の小学校へ普及を図るほか、県警ホームページで公開する」

旨の報告があった。

委員から、

「実情に配慮しながら、効果的に運用していただきたい」旨の発言があった。

### イ 主要事件の検挙

生活安全部長から、

商標法違反事件の検挙概要について報告があった。

## (3) 刑事部

刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成30年中確定値及び平成31年1

月末暫定値)

刑事部長から、刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況(前年との比較)について、

「平成30年の確定値については、

刑法犯の認知件数は55,080件で、10,431件減少した  
刑法犯の検挙件数は18,687件で、1,923件減少した  
刑法犯の検挙率は33.9パーセントで、2.4ポイント上昇した  
刑法犯の検挙人員は13,622人で、380人減少した  
重要窃盗犯の認知件数は5,885人で、2,416件減少した  
重要窃盗犯の検挙件数は2,702件で、1,213件減少した  
重要窃盗犯の検挙率は45.9パーセントで、1.3ポイント下降した  
重要窃盗犯の検挙人員は510人で、78人減少した

平成30年刑法犯認知状況の特徴は、

- 刑法犯認知件数は、過去最多である平成15年に比べ約17万件減少
- 侵入盗は11年連続全国ワースト1位を脱却し全国ワースト2位
- 住宅対象侵入盗については、12年連続全国ワースト1位

である。

平成31年1月末の暫定値については、

刑法犯の認知件数は4,039件で、306件減少した  
刑法犯の検挙件数は1,445件で、336件減少した  
刑法犯の検挙率は35.8パーセントで、5.2ポイント下降した  
刑法犯の検挙人員は1,143人で、46人増加した  
重要窃盗犯の認知件数は530件で、57件減少した  
重要窃盗犯の検挙件数は157件で、308件減少した  
重要窃盗犯の検挙率は29.6パーセントで、49.6ポイント下降した  
重要窃盗犯の検挙人員は43人で、10人減少した

平成31年1月刑法犯認知状況の特徴及び対策は、

- 侵入盗は、20.0パーセント減少しているものの、現時点全国ワースト1位
- 発生分析等に基づき連続犯行のおそれのある侵入盗等最優先で捜査すべき事件を刑事部長が指定しブロック連携による合同捜査を促して早期検挙を強化

である」

旨の報告があった。

委員から、

「今年は大規模行事を控え、多忙であると思うが、各種対策の効果を期待している」

旨の発言があった。

#### (4) 交通部

交通事故発生状況（平成31年1月末）

交通部長から、平成30年1月末の交通事故発生状況について、

「交通事故死者数は、1月中7人で前年同月に比べ10人減少した。

1月中の交通死亡事故の主な特徴としては、

月別の統計が残る昭和27年以降最少かつ初の1桁台

年齢層別では「高齢者」、当事者別では「歩行者・四輪車」、事故類型別では「道路横断中」、道路形状別では「交差点内」、法令違反別では「歩行者妨害」がそれぞれ減少

名古屋市内で減少

である。

2月中の主な取組は、

高齢者対策の強化

日没後1時間対策の推進

歩行者保護対策の強化

交通機動隊の集中運用

である」

旨の報告があった。

委員から、

「交通事故死者数が減少したことにも原因はあるはずなので、しっかりと見極めて、今後に活かしていただきたい」

「何としても今年はワースト脱却を達成していただきたい」

旨の発言があった。

#### (5) その他

警備部長から、  
愛知県内での豚コレラの発生概要と対応  
について報告があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理

公安委員会執務官から、  
1月28日までに届いた公安委員会宛の文書1件  
について報告があり、公安委員会は「警察官の対応に関する申出」を警察法  
79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁  
した。

### (2) 激励の上申

公安委員会執務官から、  
名古屋市内におけるオートバイ使用のひったくり事件合同捜査班  
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

### (3) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、  
遺族給付金支給裁定 1件  
について説明があり、原案どおり裁定した。

### (4) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

(5) 優良指定自動車教習所表彰の実施

運転免許課長から、  
優良指定自動車教習所表彰の実施  
について報告があった。

(6) 名古屋市との治安連絡会の開催結果

企画調整課長から、名古屋市との治安連絡会開催結果について、  
「2月4日(月)、名古屋市役所で開催し、本県警察からは本部長以下  
12人、名古屋市からは、市長以下18人が出席した。  
名古屋市からは、  
名古屋市集団資源回収における古紙持去り  
名古屋駅駅前広場の再整備プラン  
しだみ古墳群ミュージアム「SHIDAMU(しだみゅー)」の開館  
について説明があり、本県警察からは、  
平成30年中の暴力団情勢等  
名古屋市における平成30年中の交通死亡事故発生状況及び平成31  
年の交通死亡事故抑止対策  
名古屋市の犯罪の現状と対策  
について説明した」  
旨の報告があった。

(7) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、  
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 55件  
風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 4件  
について報告があり、行政処分を決定した。

## 定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成31年2月14日 9時30分～12時40分

出席委員：佐伯委員長・後藤委員・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

### 1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成31年度当初予算（案）及び平成30年度補正予算（案）の概要	総務部	本 部 長 総 務 部 長
2	主要事件の検挙	生活安全部	警 務 部 長 生活安全部長
3 報告	国府宮はだか祭における雑踏警備の実施	地域部	地 域 部 長 刑 事 部 長
4	主要事件の検挙	刑事部	交 通 部 長 警 備 部 長
5	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成31年1月中）	警備部	名古屋市警察部長 通信庶務課長

### 2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（12件）	総務部	公安委員会執務官
2 報告	平成30年度愛知県警察会計監査（財務）の実施結果		監 査 官
3 裁決	運転免許停止処分に対する審査請求	警務部	訟 務 官
4 裁決	運転者区分決定に対する審査請求（4件）		
5 決裁	愛知県公安委員会による指定射撃場の指定	生活安全部	保 安 課 長
6 報告	交通事故事件捜査に伴う不適正事案の防止	交通部	交通捜査課長
7 決定	聴聞等の実施結果・決定 50件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官



## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 総務部

平成31年度当初予算（案）及び平成30年度2月補正予算（案）の概要

総務部長から、平成31年度当初予算（案）及び平成30年度2月補正予算（案）の概要について、

「平成31年度当初の予算額は1,798億2,623万円（平成30年度当初予算比96億7,307万2千円増）で、主な事業内容は、

組織体制の充実

- 大規模な警衛・警護に伴う警備諸対策の推進

県民の安全・安心を脅かす犯罪の抑止と検挙力の強化

安全・快適な交通環境の実現

災害に備えた総合対策の推進

治安の基盤たる警察施設の整備

である。

平成30年度2月補正予算は1億808万8千円の減額補正である」旨の報告があった。

#### (2) 生活安全部

主要事件の検挙

生活安全部長から、

- 全国規模の大型・組織的詐欺事件の検挙概要

- 情報商材の電話勧誘販売業者等に係る詐欺・特商法違反事件の検挙概要

- スマートフォン決済の不正利用による詐欺事件の検挙概要

について報告があった。

委員から、

「サイバー犯罪は今後も増加する一方だと思われるので、犯罪抑止のため

めにも、検挙の報道は積極的に行っていただきたい」旨の発言があった。

### (3) 地域部

#### 国府宮はだか祭における雑踏警備の実施

地域部長から、

「国府宮はだか祭に伴い、2月17日(日)午前8時から同日午後7時頃までの間、稲沢市の国府宮神社(尾張大國靈神社)及びその周辺において雑踏警備を実施する」

旨の報告があった。

委員から、

「事故が発生しないよう、しっかりお願いしたい」

旨の発言があった。

### (4) 刑事部

#### 主要事件の検挙

刑事部長から、

バレンタインイベント会場におけるすり被疑者の検挙概要について報告があった。

### (5) 警備部

#### 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可(平成31年1月中)

警備部長から、1月中の行進又は集団示威運動に関する条例の取扱状況について、

「4件の許可申請を受理し、全て許可した」

旨の報告があった。

(6) その他

ア 平成30年度愛知県警察テレビ番組の制作・放送

総務部長から、  
平成30年度愛知県警察テレビ番組の制作・放送  
について報告があった。

委員から、  
「警察への密着番組等も含め、このようなテレビ番組は県民に警察活動  
を知ってもらうのに効果的である」  
「採用活動にもうまく利用してほしい」  
旨の発言があった。

イ 愛知県内での豚コレラの発生と対応

警備部長から、  
愛知県内で発生した豚コレラの発生概要と警察の対応  
について報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（12件）

公安委員会執務官から、  
2月11日までに届いた公安委員会宛の文書等12件  
について報告があり、決裁した。

(2) 平成30年度愛知県警察会計監査（財務）の実施結果

監査官から、  
平成30年7月2日（月）から11月21日（水）までの間に実施した平成30

年度愛知県警察会計監査（財務）の結果  
について報告があった。

(3) 運転免許停止処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許停止処分に対する審査請求について、  
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明  
があり、原案どおり裁決した。

(4) 運転者区分決定に対する審査請求（4件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求4件について、  
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明  
があり、いずれも原案どおり裁決した。

(5) 愛知県公安委員会による指定射撃場の指定

保安課長から、  
指定射撃場の指定に係る申請内容及び指定基準に関する調査結果  
の説明があり、決裁した。

(6) 交通事故事件捜査に伴う不適正事案の防止

交通捜査課長から、  
交通事故事件捜査に伴う不適正事案の防止  
について報告があった。

委員から、  
「各級幹部のチェック機能を十分に働かせてほしい」  
「管理システムの導入と合わせて、サポート体制の充実、捜査員個人の  
能力の向上にも引き続き努められたい」  
旨の発言があった。

(7) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、  
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 48件  
風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 2件  
について報告があり、行政処分を決定した。

## 定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成31年2月21日 9時30分～12時50分

出席委員：佐伯委員長・後藤委員・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

### 1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	3月の行事予定	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	一般社団法人日本DMORTとの協定締結		
3	主要事件の検挙	生活安全部	生活安全部 長 地 域 部 長
4	国府宮はだか祭における雑踏警備の実施結果	地域部	刑 事 部 長 交 通 部 長
5	主要事件の検挙	刑事部	警 備 部 長 名古屋市警察部長
6	「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2019」開催に伴う交通対策等の実施	交通部	情報通信部長

### 2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	激励の上申（2件）		
3 報告	人事案件	警務部	警 務 部 長
4 決裁	苦情の調査結果（2件）		住 民 サ ー ビ ス 課 長
5 報告	行政訴訟の終了		訟 務 官
6 裁決	運転者区分決定に対する審査請求（2件）		
7 裁決	放置違反金納付命令に対する審査請求	交通部	運 転 免 許 課 長
9 決裁	準中型自動車免許教習に係る公安委員会の指定		
10 報告	運転免許試験場の建替え工事完了後における駐車場運営	交通部	
11 決裁	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請	警備部	警 備 課 長
12 決定	聴聞等の実施結果・決定 60件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 警務部

##### ア 3月の行事予定

警務部長から、3月の行事予定について、  
「県警の強調業務は、  
統一地方選挙における選挙違反の適正な取締り  
である」  
旨の報告があった。

##### イ 一般社団法人日本DMORTとの協定締結

警務部長から、  
「被害者等の心情に配慮したきめ細かな支援を行うことにより、被害者等の精神的被害の軽減につなげることを目的に、一般社団法人日本DMORTとの連携に関する協定を締結する」  
旨の報告があった。

委員から、  
「始まったばかりであるので、経験を重ねて、被害者等にとってかけがえのない支援ができるよう、大きく育ててほしい」  
旨の発言があった。

#### (2) 生活安全部

##### 主要事件の検挙

生活安全部長から、  
家屋解体ゴミ等の不法投棄事件の検挙概要  
について報告があった。

委員から、  
「今後も、同種事案についてしっかり取り締まってほしい」  
旨の発言があった。

### (3) 地域部

#### 国府宮はだか祭における雑踏警備の実施結果

地域部長から、2月17日(日)に実施した国府宮はだか祭における雑踏警備の結果について、  
「警察官494人体制で自主警備員と連携して雑踏警備を実施した結果、  
雑踏事故の発生はなかった」  
旨の報告があった。

### (4) 刑事部

#### 主要事件の検挙

刑事部長から、  
中国人による偽造在留カード所持等事件の検挙及び偽造工場の摘発概要  
について報告があった

### (5) 交通部

#### 「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2019」開催に伴う交通対策等の実施

交通部長及び警備部長から、「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知  
2019」開催に伴う交通対策等の実施について、

「3月10日(日)、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2019として、  
『名古屋ウィメンズマラソン』等複数の大規模路上競技会が同時に開催  
されることに伴い、交通対策、雑踏警備、警備諸対策等の各種対策を実  
施する」



旨の報告があった。

委員から、

「有名で注目されるイベントになるほどテロ等の不法事案の標的にもなりやすいので、しっかりと未然防止に努められたい」

旨の発言があった。

## (6) その他

交通部長から、

テレビ番組への出演  
について報告があった。

委員から、

「気候が良くなると交通事故も増える傾向にあるように思うが、いいタイミングで交通事故防止の広報ができる」

旨の発言があった。

また、警備部長から、

愛知県内での豚コレラの発生と対応  
について報告があった。

委員から、

「負担はかかると思うが、適切に対応されたい」  
旨の発言があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、

2月15日までに届いた公安委員会宛の文書等2件  
について報告があり、決裁した。

(2) 激励の上申（2件）

公安委員会執務官から、

- スマートフォン決済の不正利用による詐欺事件合同捜査本部
- 出資法違反事件合同捜査本部

に対する上申について説明があり、決裁した。

(3) 人事案件

警務部長から、

人事案件

について報告があり、同意を得た。

(4) 苦情の調査結果（2件）

住民サービス課長等から、

公安委員会宛の「交通取締りに関する苦情」及び「事故捜査に関する苦情」の2件について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明

があり、1件は原案どおり、1件は一部修正の上、決裁した。

(5) 行政訴訟の終了

訟務官から、

分限処分等取消請求控訴事件の終了

について報告があった。

(6) 運転者区分決定に対する審査請求（2件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求2件について、

請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、いずれも原案どおり裁決した。

(7) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、原案どおり裁決した。

(8) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施について、  
「平成31年1月中は、押し掛け、面会等要求、粗野乱暴な言動、連続電話、性的羞恥心を害する事項の告知等を理由に27件の警告を実施した。  
禁止命令等は実施しなかった」  
旨の報告があった。

(9) 準中型自動車免許教習所に係る公安委員会の指定

運転免許課長から、  
「道路交通法99条に基づく指定自動車教習所に対して、新たに準中型自動車免許に係る公安委員会の指定を申請する」  
旨の説明及び適合性に関する審査結果の提示があり、決裁した。

(10) 運転免許試験場の建替え工事完了後における駐車場運営

運転免許課長から、  
運転免許試験場の建替え工事完了後における駐車場運営についての基本方針及び取組事項  
について報告があった

(11) 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請

警備課長から、

3月3日に行われる示威集会及び行進の許可申請の内容について説明があり、決裁した。

(12) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 57件

風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 2件

警備業者に対する認定取消しに関する聴聞結果 1件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成31年2月28日 9時00分～12時30分

出席委員：佐伯委員長・後藤委員・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	主要事件の検挙	生活安全部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	実習指導員のための「指導の手引き」の作成	地域部	
3	暴力追放セミナーの開催	刑 事 部	
4	主要事件の検挙		
5	新設の豊橋パーキングエリア（PA）における全国初の予約制大型車専用駐車場の実証実験	交通部	
6	サイバー攻撃対策セミナーの実施	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	出席者
1 報告	人事案件	本 部 長

案件	件 名	担当部	出席者
2 決裁	公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
3 決裁	激励の上申		
4 決裁	警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
5 決裁	苦情の調査結果	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
6 報告	監察案件		首 席 監 察 官
7 裁決	運転者区分決定に対する審査請求（4件）		訟 務 官
8 裁決	放置違反金督促処分に対する審査請求		
9 報告	放置車両確認事務委託契約に係る報告	交通部	放置駐車対策センター所長
10 決裁	高速自動車国道等における交通規制の実施		交 通 規 制 課 長
11 報告	高齢者講習等の安定的な実施に向けた対策について		交 通 部 参 事 官
12 決定	聴聞等の実施結果・決定 55件 要	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 生活安全部

##### 主要事件の検挙

生活安全部長から、  
「切削工具等の製造販売会社被害に係る不正競争防止法違反事件の検挙概要について報告があった。」

委員から、  
「今後も厳しく取り締まっていただきたい」  
旨の発言があった。

#### (2) 地域部

##### 実習指導員のための「指導の手引き」の作成

地域部長から、  
「平成29年7月に発足したKOBANインストラクターが実習指導員のスキルアップ及び若手地域警察官の早期戦力化を図ることを目的に、これまでの指導を通じて培った指導ポイント等をまとめた実習指導員のための『指導の手引き』を作成した」  
旨の報告があった。

委員から、  
「警察官に限らず、民間の我々から見ても非常に良くできた資料であると思う」  
旨の発言があった。

#### (3) 刑事部

## ア 暴力追放セミナーの開催

刑事部長から、

「3月7日(木)午後1時30分から、名古屋国際会議場において、暴力団等による犯罪や民事介入暴力事案等からの被害防止及び暴力団排除気運の高揚を図るため、暴力追放セミナーを開催する」

旨の報告があった。

## イ 主要事件の検挙

刑事部長から、

公共工事発注をめぐる贈収賄事件の検挙概要

一般民家や会社事務所を対象に連続犯行する侵入盗被疑者の検挙概要

風営法違反事件の検挙概要

について報告があった。

委員から、

「どれも見事な検挙である」

「全容解明に努めていただきたい」

旨の発言があった。

## (4) 交通部

新設の豊橋パーキングエリア(PA)における全国初の予約制大型専用駐車場の実証実験

交通部長から、

「東名高速道路下り線の豊橋本線料金所跡地において、豊橋パーキングエリアの供用開始に当たり、大型車の休憩施設不足を解消するため、全国初の予約制大型車専用駐車場を併設し、実施用実験を行う」

旨の報告があった。

## (5) 警備部

### サイバー攻撃対策セミナーの実施

警備部長から、サイバー攻撃対策セミナーの実施について、

「本年開催されるラグビーワールドカップ2019、G20愛知・名古屋外務大臣会合等を控え、愛知県サイバーテロ対策協議会会員等のサイバー攻撃への対処能力を強化するため、警察庁が委託した民間業者が、サイバー攻撃に対する講演や事案対処演習を実施する」

旨の報告があった。

## (6) その他

警備部長から、

愛知県内での豚コレラの発生と対応について報告があった。

## 2 個別審議

### (1) 人事案件

本部長から、

人事案件

について報告があった。

### (2) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

2月22日までに届いた公安委員会宛の文書等3件について報告があり、公安委員会は「警察官の対応に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。



(3) 激励の上申

公安委員会執務官から、  
G20サミット対策  
に対する上申について説明があり、決裁した。

(4) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、  
警察署協議会委員の辞職及び委嘱 2 件  
について報告があり、警察署協議会委員 1 人の辞職及び後任者 1 人の委嘱に  
ついて決裁した。

(5) 苦情の調査結果

住民サービス課長等から、  
公安委員会宛の「警察官の対応に関する苦情」について、調査結果の報  
告及び申出者に対する通知文案の提示と説明  
があり、原案どおり決裁した。

(6) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

(7) 放置違反金督促処分に対する審査請求

訟務官から、放置違反金督促処分に対する審査請求について、  
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明  
があり、原案どおり裁決した。

(8) 運転者区分決定に対する審査請求（４件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求４件について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、いずれも原案どおり裁決した。

(9) 放置車両確認事務委託契約に係る報告

放置駐車対策センター所長から、放置車両確認事務を委託された契約業者に関する報告があった。

(10) 高速自動車国道等における交通規制の実施

交通規制課長から、高速自動車国道等における交通規制の実施について、「三遠南信自動車道路の東栄インターチェンジから佐久間川合インターチェンジ間の供用開始に伴い、東栄インターチェンジから静岡県境までの間の本線、ランプウェイ及びインターチェンジ連絡道路において、最高速度の指定、追い越しのための道路右側部分はみ出し通行禁止及び一方通行の交通規制を実施する。また、東名高速道下り線の豊橋本線料金所跡地に豊橋パーキングエリアを新設することに伴い、パーキングエリア流出路・流入路において、最高速度の指定、一方通行及び指定方向外進行禁止の交通規制を実施する」旨の説明があり、決裁した。

(11) 高齢者講習等の安定的な実施に向けた対策について

交通部参事官から、高齢者講習等の安定的な実施に向けた対策について報告があった。

委員から、  
「よく工夫されている。ただし、計算どおりにはいかないこともあると思うので、実態を見ながら改善も考慮してほしい」  
「指定自動車教習所の指導員の質の向上にも留意していただきたい」  
「あわせて、運転免許証の自主返納についても引き続き促進に努めていただきたい」  
旨の発言があった。

## (12) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、  
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 53件  
風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 2件  
について報告があり、行政処分を決定した。